

作成 令和2年11月5日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和2年第3回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和2年11月2日～
議事録（抜粋）

5 健都の発展と健康寿命延伸の市民への普及について

○松本議員

5 健都の発展と健康寿命延伸の市民への普及についてですが、まず健都のまちづくりの現況についてお聞かせください。

(略※)

○村上議長

保健福祉部理事

○平井保健福祉部理事

健都におけるまちづくりの現況についてのご質問に、お答えいたします。

健都におきましては、平成28年3月に供用開始した明和池公園を始めとして、平成30年11月には駅前複合商業施設がオープンし、翌月には吹田市民病院が開院しております。

また、令和元年6月にはドナルド・マクドナルド・ハウス大阪健都が、7月には、国立循環器病研究センターがオープンいたしました。今後につきましては、今年11日に、健都レールサイド公園内に健都ライブラリーが開館するとともに、イノベーションパークにおいては国立健康・栄養研究所の入居施設となるアライアンス棟の整備が予定されているところでございます。

健都におけるハード面の整備につきましては、中核となる施設の整備が一定進んでおり、今後、これらを効果的に結び、連携させていく取り組みが重要であると考えております。

(略※)

○村上議長

松本議員。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

最後に健都の発展と健康寿命延伸の市民への普及について、現状については理解しました。

続いて健都の健康寿命延伸の取組みは、どのようなものかお聞かせください。

○村上議長

保健福祉部理事

○平井保健福祉部理事

健康寿命延伸に向けた取組みについてお答え致します。健康寿命の延伸の取組みにつきましては、国立循環器病研究センターとの連携協定を軸として、「保健センターにおける特定健診の医師派遣」をはじめ、「減塩かるしおプロジェクトの推進」や「心筋梗塞から命を守るストップエムアイキャンペーン」、「脳卒中の早期発見・受診に向けたチェックファスト」などの様々な取組みを進めているところでございます。

また、国立健康・栄養研究所及び大阪府と連携し、先進的な取組みとしまして、市民を対象としたフレイルアンケートやフレイル測定、講演会などを実施しております。

これらの取組みを市民にわかりやすく伝えるため、健都のコンセプトやまちづくりの状況、摂津市におけるライフステージごとの健康施策をまとめた、リーフレット「せつつライフスタイルブック」を作成し、自治会回覧や公共施設での配布等を行っているところでございます。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

これまでの取組み、しっかりとされていると理解致しました。

しかし健都の発展と合わせ、さらなる先進的取組が必要です。今コロナ禍において、免疫力を高めるなど健康の取組みが非常に注目されています。コロナ禍での展開は難しい面もありますが、健都の取組みを、さらに市民に普及することについて、どうお考えかお聞かせください。

○村上議長

保健福祉部理事

○平井保健福祉部理事

健都の取組みを市民に普及することについてお答え致します。これまで国立循環

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

器病研究センターや医師会等との連携により、市民公開講座を開催し、多くの市民の方々にご参加いただいておりますが、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が困難な状況となっております。

このような状況の下、今年度からの新たな取り組みとしまして、国立循環器病研究センター、国立健康・栄養研究所などの関係機関にご協力をいただき、健康づくりに関する様々なオリジナル動画を作成し、市ホームページでの配信を行っているところでございます。

今後も、健都のまちづくり・魅力を広く市内外に広く発信するとともに、国立循環器病研究センターなどの知見を最大限に生かした摂津市ならではの取り組みを進め、市民の健康寿命延伸につなげてまいりたいと考えております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

普及については理解を致しました。健康寿命延伸については食育も含めさらなる取り組みで市民に普及するよう要望致します。

さて、これら健都の取組みをPRすることは、イノベーションパーク企業誘致にも繋がります。先日の井上万博担当大臣健都訪問のように着実に注目度は高まっています。

また、健都の成功には有機的連携が重要になります。その連携の仕組みがエリアマネジメントとなりますが、産学官民連携プラットフォームの取組みをお聞かせ下さい。

○村上議長

保健福祉部理事

○平井保健福祉部理事

産学官民連携プラットフォームについてお答え致します。健都における産学官民連携プラットフォームの構築につきましては、医療イノベーションと健康づくりの推進を図るための連携体制の仕組みづくりを目指し、令和2年・3年度にまたがる事業として、吹田市と協同して取り組みを進めるもので、現在、事業者の選定手続きを進めているところでございます。

当該取組みに通じまして、健都内に存在する公園や住宅、複合施設など新たなヘルスケアサービスの実証の場として活用するための条件整備等を行い、まちぐるみで「新たなサービス、新たな予防・健康プログラム」の創設につなげてまいりたいと考えております。

具体的な取り組みについては令和4年以降となりますが、健都のまちづくりを中長

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

期的に捉え、様々な主体が集う健都のポテンシャルを最大限に発揮できる仕組み作りを行っていく事は本市にとって大きなメリットになるものと認識しているところでございます。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

プラットフォームの状況は理解しました。健都の価値は有機的連携にあります。それを実現するプラットフォームをしっかりと今から構築するよう、合わせてPRするよう要望致します。

最後に、市長にお聞き致します。市長五期目に当たり、今後、健都の発展と健都の成果をどのように市全域に普及していくのか、お考えをお聞かせ下さい。

○村上議長

市長

○森山市長

健康づくりについての質問にお答えいたします。昨年、国立循環器病研究センターが開院しました。以来、市民皆さんの健康づくりに対する関心の高まりが、非常に高くなっていると思います。国循の開院後といたしますか、この国循を中心に吹田市さんとの連携を図り、日本一の健康づくり、これを世界に発信しようではないか、ということで、例えば、STOPMI（ストップエムアイキャンペーン）等々、様々な取り組みをしてきたところでございます。

この地には、さきほど答弁であったと思いますが、まもなく国立健康・栄養研究所が移転してまいります。今、世界的な病といたしますか、課題の一つが生活習慣病です。この病、習慣病を克服して、健康寿命をさらにさらに延伸さそう、そういった挑戦をこの地でしていくことになろうかと思えます。

時あたかもといたしますか、2025年に大阪で万博が開かれますが、この万博のテーマ、キャッチフレーズですね、「いのち輝く未来社会のデザイン」とあります。このコンセプトは、この健都のまちづくりの精神、これとピタリと私は、符合すると思えます。

万博博覧会といえは世界中から、ヒト・モノ・情報・知恵が飛び交うといたしますか、たくさん集まってまいります。そういう意味では、これを機にですね、この健都の世界一を目指す健康づくり、これが発信できれば、こんなうれしいことはないと思えます。

そういうことで、今後も人生100、これが理想でなくて現実のものになるようにと言いますか、健康づくり、またしっかりと目を向けていきたいと思えます。以上です。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○村上議長

松本議員。

○松本議員

ありがとうございます。

まさに健都は大きな実現できる夢であり、希望でございます。国と府と市と連携してより良いものを実現しなければなりません。そして、その成果をしっかりと市民サービスに普及することも重要であります。また JR 千里丘駅西口再開発との連携、明和池公園の価値向上、そして 2025 年大阪・関西万博とも連携させ本市の発展につなげるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 コロナ禍でのインフルエンザ流行期に備えた医療提供体制の確保について
- 2 学力課題の解決につながる主体的に学習に取り組む態度を育み支える教育施策について
- 3 産業のまち摂津でのビジネスサポートセンターの必要性について
- 4 消防力充実と広域化の展望について
- 5 健都の発展と健康寿命延伸の市民への普及について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]